

香川生物 (Kagawa Seibutsu)(25) : 43-45, 1998.

土器川 (香川県) で採集されたカワアナゴ

安 芸 昌 彦

〒760-0068 香川県高松市松島町1-18-54 香川県立高松商業高等学校

矢 野 重 文

〒762-0031 香川県坂出市文京町2-1-5 香川県立坂出高等学校

A New Record of *Eleotris oxycephala* from the River Doki, Kagawa PrefectureMasahiko Aki, *Takamatsu Commercial High School, Takamatsu, Kagawa 760-0068, Japan*Shigefumi Yano, *Sakaide High School, Sakaide, Kagawa 762-0031, Japan*

カワアナゴ *Eleotris oxycephala* (Temminck et Schlegel) はハゼ科カワアナゴ亜科カワアナゴ属に分類される大型のハゼ類である。川で生まれた仔魚は海に下って遊泳生活を行い、稚魚になると底生生活に移行する。成魚は河川の中流域下部から汽水域にかけて生息する。国内では、茨城県以南の本州太平洋側、四国、九州、種子島及び屋久島に分布するとされている (宮地ほか, 1976; 岩田, 1989; 明仁ほか, 1993)。四国4県内でカワアナゴの報告がなかったのは香川県のみであったが、今回、県下でカワアナゴが初めて採集確認されたので報告する。この報告をまとめるにあたって、ご助言や資料の提供をいただいた姫路市立水族館の増田修氏ならびに兵庫県立尼崎北高等学校の鈴木寿之氏、原稿作成の過程で丁寧なご指導をいただいた香川大学教育学部生物学・環境科学教室の渡辺直教授に深く感謝の意を表する。

採集は筆者のひとり矢野によって1997年10月9日の夜7時30分頃に行われた。採集地は土器川下流域の平成大橋 (丸亀市) 付近である (図1)。採集場所は礫 (直径10~20cm) が点在する砂底で、水深は40cm程度の平瀬である。カワアナゴは、照明用の懐中電灯の光に対してあまり警戒せず、岸から1m付近に停止していたの

で、2つの玉網で挟み込むようにして1個体を捕獲した。この場所ではカワアナゴのほかオイカワ *Zacco platypus*, カワムツ B型 *Zacco temminckii*, ギンブナ *Carassius auratus langsdorfii*, タモロコ *Gnathopogon elongatus elongatus*, ギギ *Pelteobagrus nudiceps*, シマドジョウ *Cobitis biwae*, スジシマドジョウ 中型種 *Cobitis* sp. オオクチバス *Micropterus salmoides* も同時期に確認している。

採集した個体の体色は、背面が淡黄褐色、腹面が暗褐色、頭部下面には白色斑が散在していた。また、胸びれの基底に2個の暗褐色斑が見られた (図2)。前鰓蓋骨棘が皮下に埋没し前

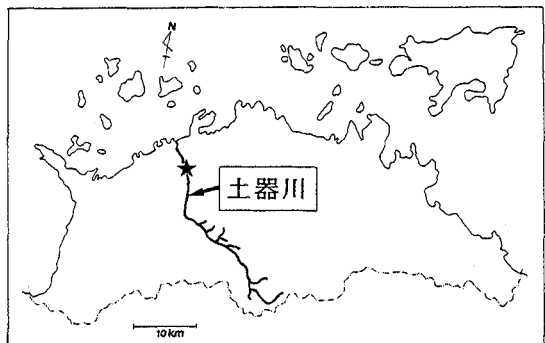


図1. カワアナゴの採集地点。

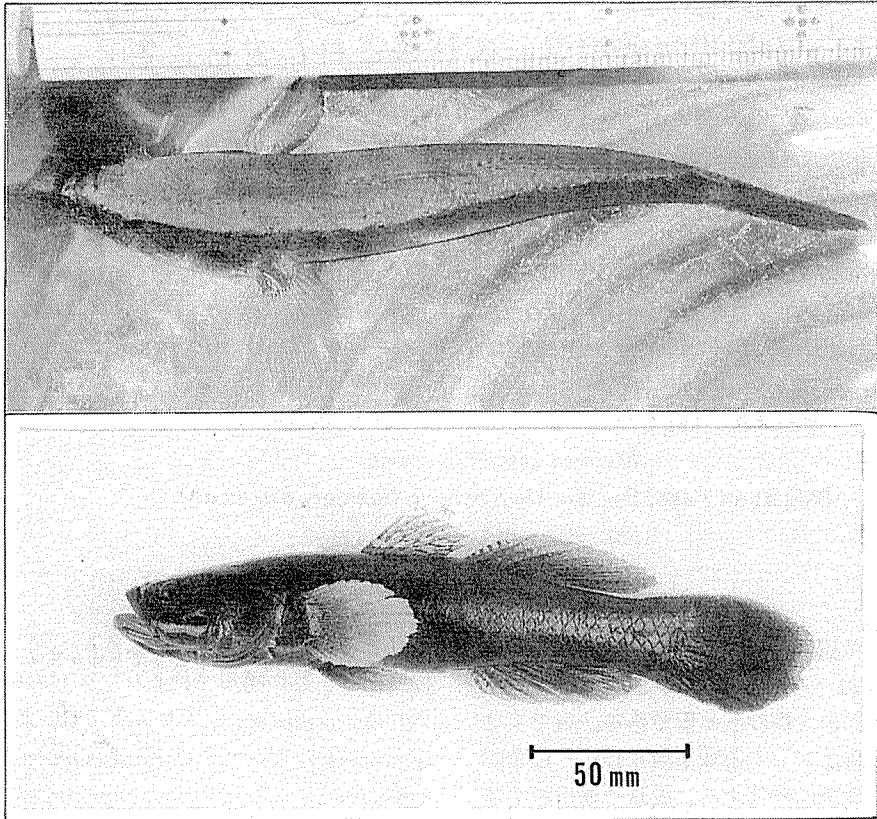


図2. カワアナゴの水槽内写真(上)と標本写真(下)

方を向くこと、鰓蓋部の上下の孔器が後方で接しないこと、頬の横列孔器列が縦列孔器列を越えないこと、生殖突起の後縁が房状を呈することからカワアナゴ(雌)と同定した。ホルマリン液浸標本での測定結果は、体長185.6mm、体高20.9mm、湿重量137.7gであった。

香川県における最初の本格的な淡水魚類相の調査は、1970年代に香川大学教育学部生物学教室によって行われた(植松ほか, 1979)。1980年代には、香川県環境保健部による自然環境保全指標策定事業が実施され、改めて県下の主要河川及び溜池の淡水魚類相の調査が行われた(須永・植松, 1981, 1982, 1984; 須永ほか, 1985, 1986, 1987a, 1987b)。他にも自然環境保全基礎調査(香川県, 1979; 環境庁, 1987, 1993; 大高ほか, 1994)や開発に伴う生物分布調査(大高, 1985)など様々な調査が県内各地で行

われた。しかし、いずれの調査においてもカワアナゴは採集されなかった。

カワアナゴを採集した土器川は、規模(流程と流域面積)及び魚種数が県下最大の一級河川であり、カワアナゴの生息する可能性が高い河川の1つであった。また、今回は調査の時間帯がカワアナゴの活動が活発になる夜間であったことも幸いした。

なお、他県の瀬戸内海流入河川では、大分県亀川(道津, 1977)、岡山県高梁川(江田, 1994)、愛媛県重信川(愛媛県, 1979)・肱川(辻, 1991; 建設省, 1993)、兵庫県市川(増田・鈴木, 1996)などでカワアナゴが採集されている。

文 献

明 仁・岩田久・坂本勝一・池田祐二. 1993. ハゼ科. 中坊徹次編. 日本産魚類の検索: 全

- 種の同定. 東海大学出版会, 東京: 998-1086, 1355-1365.
- 道津喜衛. 1977. ハゼと温泉—カワアナゴ類の生活史研究覚書—, 淡水魚 (3): 70-74.
- 江田伸司. 1994. 岡山県におけるカワアナゴの採集記録. 倉敷市立自然史博物館報告 (9): 55-56.
- 愛媛県. 1979. 第2回自然環境保全基礎調査, 河川調査報告書.
- 岩田明久. 1989. カワアナゴ亜科. 川那部浩哉・水野信彦編. 日本の淡水魚. 山と溪谷社, 東京: 546-560.
- 香川県. 1979. 第2回自然環境保全基礎調査, 河川調査報告書.
- 環境庁. 1987. 第3回自然環境保全基礎調査, 河川調査報告書.
- 環境庁. 1993. 第4回自然環境保全基礎調査, 動植物分布調査報告書(淡水魚類).
- 建設省. 1996. 建設省河川局河川環境課監修. 平成5年度河川水辺の国勢調査年鑑(魚介類調査, 底生動物調査編).
- 増田 修・鈴木寿之. 1996. 兵庫県姫路市で採集されたカワアナゴ(ハゼ科魚類)—兵庫県における採集記録—. 兵庫陸水生物 (47): 10-12.
- 宮地伝三郎・川那部浩哉・水野信彦. 1976. カワアナゴ属. 原色日本淡水魚類図鑑(全改訂新版). 保育社, 大阪: 336-339.
- 大高裕幸. 1985. 国営讃岐丘陵公園の淡水魚類. 国営讃岐丘陵公園動植物現状調査報告書(香川動植物の会): 21-26.
- ・須永哲雄・河内直人・倉沢 均・吉田時子・森 一生. 1994. 香川県香東川と財田川における淡水魚の分布. 香川生物 (21): 5-14.
- 須永哲雄・植松辰美. 1981. 土器川における淡水魚の分布. 香川県自然環境保全指標策定調査研究報告書(土器川水系): 93-97.
- ・———. 1982. 香川県中讃西部地域における淡水魚の分布. 同上(香川県中讃西部地域): 243-262.
- ・———. 1984. 香川県西讃地域における淡水魚の分布. 同上(香川県西讃地域): 157-166.
- ・———・大高裕幸・河内直人. 1985. 香川県中讃東部地域における淡水魚の分布. 同上(香川県中讃東部地域): 194-205.
- ・———・———・———. 1986. 香川県東讃地域における淡水魚の分布. 同上(香川県東讃地域): 175-184.
- ・吉田時子・大高裕幸・倉沢 均・河内直人・植松辰美. 1987a. 香川県小豆島地域における淡水魚の分布. 同上(香川県小豆島地域): 121-129.
- ・———・倉沢 均・大高裕幸・河内直人. 1987b. 新川水系のため池における淡水魚の分布. 同上(新川水系のため池): 53-59.
- 辻 浩一. 1991. 肱川水系の魚類(1). 南予生物 (6): 6-9.
- 植松辰美・須永哲雄・川田英則. 1979. 香川県の淡水魚. 動物と自然 9 (1): 11-17.